

100mm/h安心プラン 今回登録箇所一覧

今回登録箇所

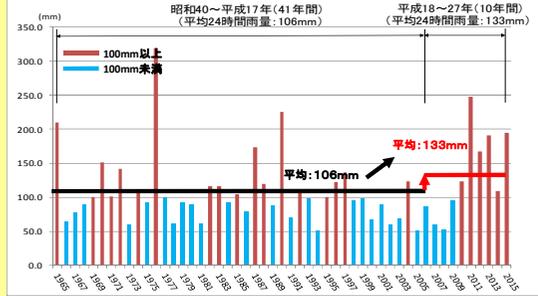
| 関係自治体 | 水系／河川 | 主な事業内容 | | | |
|------------|------------------------------|--|---|--|--|
| | | 河川整備 | 下水道整備 | 流域対策 | ソフト対策 |
| 兵庫県 姫路市 | やかがわ 八家川水系 やかがわ 八家川 | <ul style="list-style-type: none"> ・調節池整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・雨水ポンプの整備 ・雨水貯留施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・既設農業用ため池貯留 ・雨水浸透ますの整備 <p>等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・内水ハザードマップの作成・配布 ・ため池パトロールの実施 ・民間企業と連携し、緊急放送として情報発信 <p>等</p> |

【計画名称】 八家川流域浸水対策プラン

【兵庫県姫路市】

流域の概要

- 兵庫県姫路市に位置する八家川流域は、河川整備並びに内水対策に取り組んできたものの、近年多発する豪雨で、度重なる浸水被害が生じている。
- 近年では、平成23年9月台風第12号(243.5mm/24h)により、床上浸水14戸、床下浸水103戸の浸水被害が発生した。
- 市街化の進展等により、流域内人口が増加している。
20,028人(S46)→28,882人(H28) 約1.4倍
- 最近10年間では、年最大24時間雨量が増加している。
平成17年まで : (平均値)106mm
平成18年～27年 : (平均値)133mm
- 河川・下水の法定計画
・河川(整備計画 W=1/20)
・下水道(雨水:事業計画 W=1/10)
- 流域浸水対策プランで対象とする降雨
平成23年9月台風12号 最大時間雨量 243.5mm/24h、55mm/h



浸水被害の主な要因

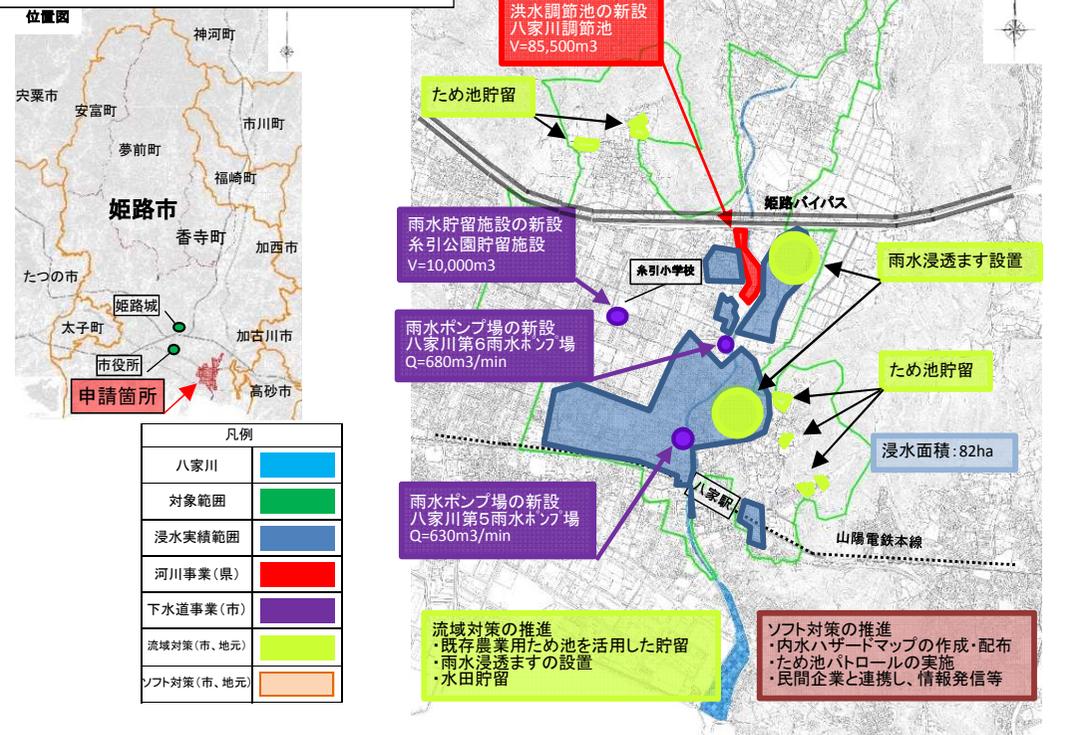
- 下水道(雨水排水)の整備を進めているが、近年事業計画を上回る降雨の発生により、流域が浸水する危険性が増大
 - 流域内の市街化の進展等により、雨水が河川へ流れ込みやすくなり、流域から河川への雨水の流出量が増加
- ⇒ 流域の関係機関が一体となりハード・ソフトの治水対策を効果的に組み合わせ推進する必要がある。

八家川流域の総合的な治水対策について、兵庫県・姫路市・地元住民からなる「八家川流域浸水対策協議会」で検討し、関係機関が対策を実施

八家川流域浸水対策協議会 平成27年9月～

| 組織 | 部局 |
|------|-------------------------------------|
| 兵庫県 | 河川整備課、姫路土木事務所、姫路港管理事務所 |
| 姫路市 | 河川整備課、下水道整備室 |
| 地域住民 | ヤギ シラハマ イトヒキ 八木、白浜、糸引地区連合自治会及び農区 |

八家川流域浸水対策箇所図



取組の内容

- 実施方針
 - ①浸水被害の危険性が高い対象区域において、河川事業と下水道事業の連携による集中的な整備を実施
 - ②対策効果の早期発現
 - ③兵庫県、姫路市、地域住民が連携し、情報周知等によるソフト面の対策
 - ④河川の氾濫を想定した水防訓練の実施等、地域における水防災活動の強化
- 対策効果の早期発現を目指したハード対策
 - ①調節池を整備することにより、下流の洪水流量を低減(兵庫県)
 - ②内水排除能力を増強するため、雨水ポンプ場を2箇所新設(姫路市)
 - ③流出抑制のため、公園整備に合わせた雨水貯留施設を新設(姫路市)
- 流域対策
 - ①農政部局と連携し、既存のため池・水田による貯留効果の活用(姫路市、住民)
 - ②雨水浸透ますの設置による流出抑制(姫路市)
- ソフト対策
 - ①内水ハザードマップの作成・配布、ため池パトロールの実施(姫路市、住民)
 - ②「ひめじ防災ネット」やエリアメール並びに民間企業と連携し緊急放送として情報発信(姫路市、民間企業)

取組の効果

対象とする降雨に対して、床上及び床下浸水被害の低減及び浸水エリアの縮小を図る。

100mm/h安心プラン 登録箇所一覧

今回の登録箇所を含め、19箇所の計画が登録されています。

| | 関係自治体 | 水系／河川 | 登録月 |
|----|----------|---|----------|
| 1 | 富山県、高岡市 | 庄川水系／地久子川 小矢部川水系／谷内川、守山川、四屋川 | 平成25年9月 |
| 2 | 石川県、金沢市 | 犀川水系／犀川、高橋川、安原川、木曳川 大野川水系／大野川、浅野川、森下川、弓取川、大宮川、源太郎川、柳瀬川、馬渡川 | |
| 3 | 静岡県、沼津市 | 富士川水系／沼川、高橋川 | |
| 4 | 静岡県、焼津市 | 瀬戸川水系／石脇川 | |
| 5 | 静岡県、浜松市 | 天竜川水系／安間川 | |
| 6 | 栃木県、鹿沼市 | 利根川水系／小藪川 | 平成26年2月 |
| 7 | 岐阜県、多治見市 | 庄内川水系／土岐川、脇之島川 | |
| 8 | 静岡県、富士市 | 富士川水系／小潤井川、伝法沢川 | |
| 9 | 愛知県、名古屋市 | 庄内川水系／堀川 | |
| 10 | 愛知県、名古屋市 | 山崎川水系／山崎川 | 平成26年9月 |
| 11 | 福島県、郡山市 | 阿武隈川水系／阿武隈川、逢瀬川、南川、谷田川 | |
| 12 | 千葉県、茂原市 | 一宮川水系／一宮川、梅田川 | |
| 13 | 長野県、岡谷市 | 天竜川水系／塚間川 | 平成27年2月 |
| 14 | 静岡県、袋井市 | 太田川水系／太田川、小笠沢川 | |
| 15 | 福岡県、北九州市 | 紫川水系／紫川、神嶽川 | |
| 16 | 佐賀県、佐賀市 | 筑後川水系／佐賀江川、三間川、黒川、城東川 嘉瀬川水系／本庄江、地蔵川 | |
| 17 | 埼玉県、春日部市 | 利根川水系／新方川、会之堀川 | 平成27年11月 |
| 18 | 愛知県、東海市 | 大田川水系／大田川 | 平成28年2月 |
| 19 | 兵庫県、姫路市 | 八家川水系／八家川 | 平成29年3月 |

100mm/h安心プランの概要

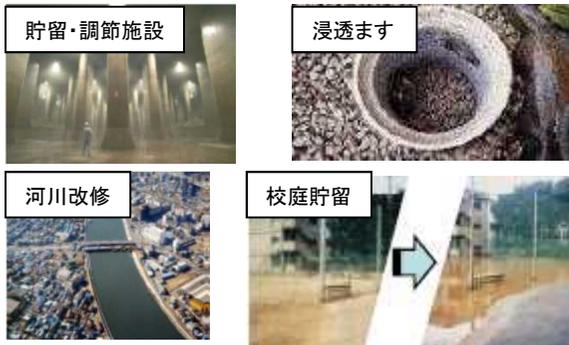
- ▶ 従来の計画降雨を超える、いわゆる「ゲリラ豪雨」に対し、住民が安心して暮らせるよう、関係分野の行政機関が役割分担し、住民(団体)や民間企業等の参画のもと、住宅地や市街地の浸水被害の軽減を図るために実施する取組を定めた計画を「100mm/h安心プラン」とする。
- ▶ 策定主体は市町村および河川管理者、下水道管理者等とし、水管理・国土保全局長において登録を行う。
- ▶ 登録した地域について、流域貯留浸透事業の交付要件を緩和することにより、計画的な流域治水対策の推進を図る。

●対象地域

河川事業および下水道事業が実施されている**住宅地**
や市街地の浸水被害を軽減を図る地域

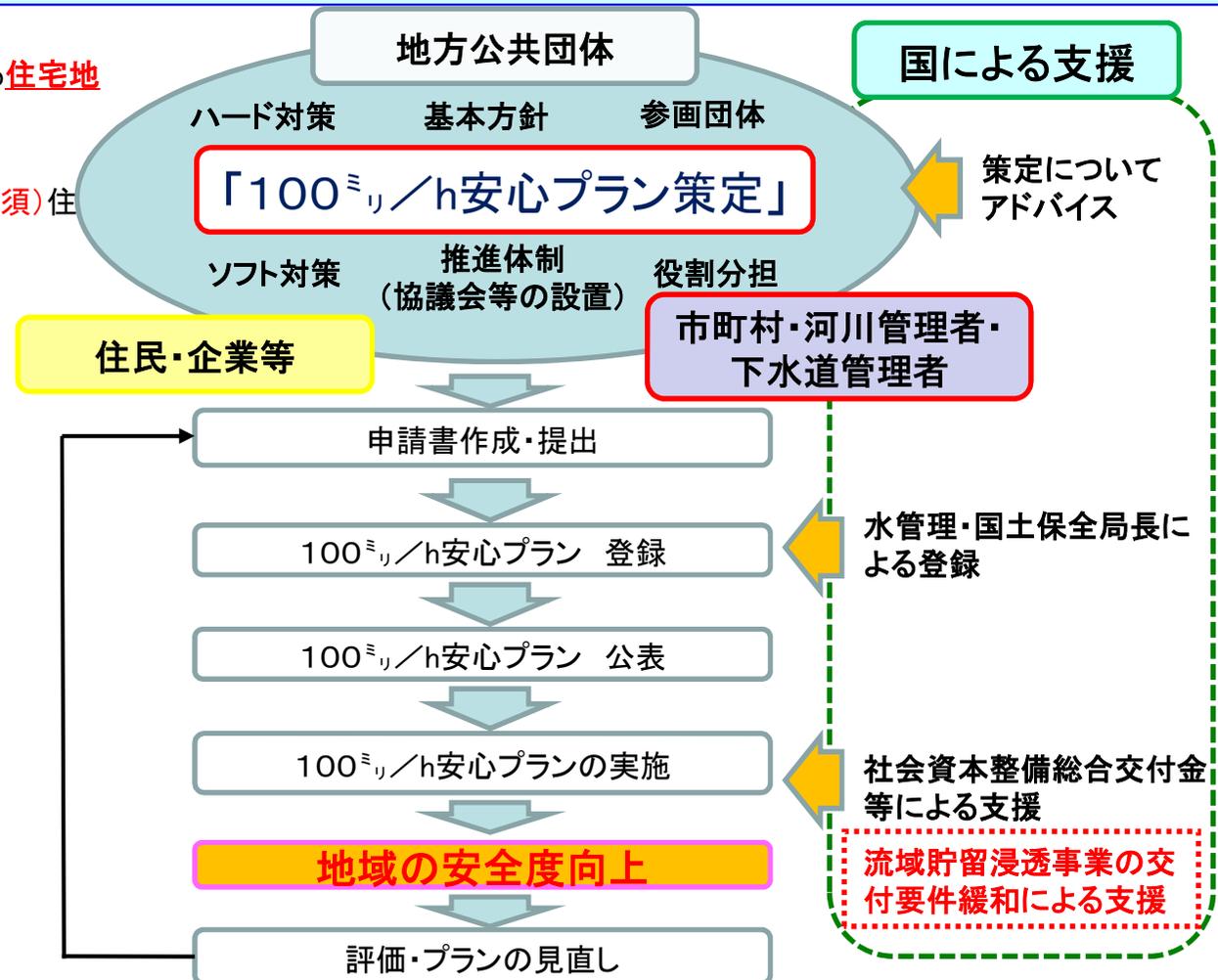
●計画策定主体

市町村および河川管理者、下水道管理者(必須)住
民(団体)や民間企業等(任意)



期待される効果

- 河川や下水道等の連携により一層の効果的な整備が可能
- 登録、公表等により一層の整備推進等が見込まれる
- 住民等の参加により、地域の防災への意識が高まる



100mm/h安心プランの登録要件

- 100mm/h安心プラン実施要綱において対象地域や、登録等について定め、平成25年4月1日から施行するものとする。
- 市町村等の計画策定主体が策定した100mm/h安心プランについて、実施要綱に定める登録の要件を満たすことを国土交通省において確認の上、登録する。登録された100mm/h安心プランは、当該市町村のホームページ等において公表するものとする。

実施要綱

●登録要件(ポイント)

1. 計画降雨を超える**局地的大雨を対象**とするもの
2. 行政機関(河川管理者・下水道管理者等)が役割分担し、住民(団体)や民間企業等の参画のもと、**住宅地や市街地の浸水被害を軽減する取組(ソフト対策含む)**を実施するもの
3. **浸水被害軽減のための集中的な対応等**に重点を置くもの

●100mm/h安心プランに定める内容

- (1) 基本方針
 - ・被害状況、対象とする降雨
- (2) 計画策定のための体制に関する事項
 - ・参画団体等、推進体制
- (3) 目的を達成するために実施する内容
 - ・河川・下水道の整備による浸水対策
 - ・分散型貯留浸透施設等による流域対策
 - ・危険情報周知の対策
 - ・水防活動強化の取組
 - ・住民(団体)、民間企業等における水害対策への取組
- (4) 計画期間(概ね5~10年とする)
- (5) その他必要な事項

100mm/h安心プラン申請書

100mm/h安心プラン 概要書(案)

| | | | |
|--|-------------------|-------|-------|
| 水系 | ○○川 | 河川 | ○○川 |
| 関係都道府県 | ○県 | 関係市町村 | ○市、○町 |
| 計画策定主体 | ○県 | | |
| 事業期間 | 平成○○年度~平成○○年度(予定) | | |
| 基本方針 | | | |
| ○浸水被害の危険性が高い地域を集中的に整備 ○緊急整備により、迅速に浸水被害を軽減 ○部、関係区市、郡民が密接に連携 | | | |
| 計画規模を超える局地的豪雨の発生状況 | | | |
| ・平成・年・月・日、集中豪雨、最大日雨量○○mm、最大時間雨量○○mm 浸水面積○○ha、床上浸水○○戸、床下浸水○○戸 | | | |
| ・平成・年・月・日、集中豪雨、最大日雨量○○mm、最大時間雨量○○mm 浸水面積○○ha、床上浸水○○戸、床下浸水○○戸 | | | |
| 参画機関 | | | |
| <管> | | | |

国土交通省において 内容確認

- ・必要性
- ・事業の効果
- ・関係者の役割分担
- ・実現可能性等

登録(水管理・国土保全局長) 公表(策定主体)

